

「画像検査を用いた、固形がんの骨髄への広がり」に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2026年9月2日～2030年12月31日

〔研究課題〕

固形癌における画像的脊椎びまん性浸潤を指標とした播種性骨髄癌症の臨床的特徴および予後予測因子の検討：後ろ向き観察研究

〔研究目的〕

本研究は、固形がんの患者さんのうち、MRI、PET-CT、CTなどの画像検査で、脊椎全体の骨髄に広がる浸潤（脊椎びまん性浸潤）が疑われた方について、診療録や検査結果を調べ、その臨床的特徴と予後に関わる因子を明らかにすることを目的とします。

〔研究意義〕

播種性骨髄癌症は、がん細胞が骨髄に広く入り込み、貧血、血小板減少、血液が固まりにくくなる状態（DIC）などを伴うことがある重い病態です。骨髄生検による診断が基準とされますが、患者さんへの負担や診断までの時間が課題となります。画像検査で認められる脊椎びまん性浸潤の所見と、血液検査値や生存期間との関係を調べることで、より早く病状を把握できる可能性があります。

〔対象・研究方法〕

□ **対象**：2011年1月01日から2026年6月30日に当院を受診した固形がんの骨転移患者さんのうち、画像検査で脊椎全体に病変の広がり（脊椎びまん性浸潤）が確認された方（約20～40名）。

□ **方法**：過去のカルテ情報（年齢、性別、原発がんの種類、画像・血液検査結果、治療経過など）を調査します。既存のデータを用いるため、患者さんに新たな検査や来院をお願いすることや、追加の費用負担等は一切ありません。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院 整形外科（帝京大学医学部 整形外科科学講座）

〔個人情報の取り扱い〕

収集した情報から氏名、診察券番号など個人を直接特定できる情報を削除し、研究用の番号を付けて管理します。対照表はインターネットに接続しないパソコンおよび医学部整形外科科学講座医局の施錠できる場所で厳重に保管します。研究成果は、個人が特定されない形で学会発表や学術雑誌により公表します。研究終了後に電子化したデータセット等を倫理委員会事務局に提出し、帝京大学臨床研究センターで10年間保管後廃棄します。

対象となる患者さんで、ご自身の診療情報を本研究に使用されることを希望されない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 佐藤健二

職名 講師

所属：帝京大学医学部整形外科科学講座

住所：173-8606 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL：03-3964-1211（代表）